

# 山行報告書

|        |  |     |      |        |
|--------|--|-----|------|--------|
| 日時     | 2024年7月12日(金)  |     | 天候   | 曇り時々小雨 |
| 山名     | 北海道 トムラウシ岳   |     |      |        |
| CL     | HIRO   | 参加者 | HIRO |        |
| (コース)  | 12日(金) 短縮登山口 標高957m 4:55...コマドリ沢分岐 標高1379m...前トム平標高1724m...7:35トムラウシ山頂 標高2141m...10:15短縮登山口<br>歩行距離18.3km 累積標高差 登り1581m 下り1581m 歩行時間4時間50分 休憩30分   |     |      |        |
| (コメント) | <p>&lt;トムラウシ登山メモ&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>短縮登山口の車中泊は他に1名のみだったが、翌朝4時過ぎには30台あまりの車両で駐車場は埋め尽くされていた。東大雪荘の宿泊した登山者が早朝に移動してくる。ハイシーズンは駐車場の場所取りが大変だろう。登山口にバイオトイレ有。</li><li>全体的にコースが長い。コマドリ沢分岐までは大きな下降もあり、帰路は登り返しとなる。岩稜地帯は岩が大きく落差があるため、歩きにくい。時間にはゆとりをもって行動する必要がある。</li><li>山頂直下から風と寒気が強まり、長い時間とどまる気がしなかった。テムレスなどがあると便利。</li></ol> <p>&lt;感想&gt;</p> <p>30代の頃、八甲田山で出会った登山者からトムラウシの魅力を聴いて、いつかは登ってみたいと思っていた。北海道遠征隊の他のメンバーを旭川駅に送ってから、一般道を登山口まで片道220km移動。最後はダート道を30km。今回の核心は登山口までの長距離の往復であった。一般道で鹿児島往復とほぼ同じである。北海道はでっかいぞ!!</p> <p>登山道はよく整備されていて、危険な場所はなかったが、ヒグマ対策としてホイッスルを吹きつつ、鈴も意識して鳴らして歩いた。霧雨とガスであまり良い天気ではなかったが、前トム平から一瞬だけ山頂を望むことができた。旭岳からテント泊縦走をする人も多いので、次回はテントを担いでのんびり歩きたい。</p> |     |      |        |



トムラウシ公園 【前トム平から】



誰もいない山頂



山頂方面を望む 【前トム平から】

費用概算

(交通費/人) 自家用車移動

(宿泊費/人) 車中泊



